

# いちのみやの芸術文化

- 特集『尾張名所図会』に見る「宮」
- 加入団体の紹介
- これからの催し
- 平成22年の展示をみる



2011.3

第16号

一宮市芸術文化協会

河俣上神社の大杉

ICHINOMIYA Arts and Culture Association

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

# 『おわりめいしよずえ 尾張名所圖會』に見る一宮

## 江戸時代の観光ガイドブック

旅行に出かける際、私たちは本屋さんで何種類もある観光ガイドブックを吟味します。そこには、名所・旧跡だけでなく旅館やホテル、ご当地グルメなど多種多様な情報が書かれています。

では、江戸時代の人々はどうだったかというところ、江戸時代後期には「名所図會」とつく書物が数多く出版されています。『東海道名所図會』・『木曾路名所図會』・『江戸名所図會』など、寺院や神社の由来や見どころ、名産品などを平易に絵を挿入して紹介しています。そして、一宮市域を含む尾張を紹介しているのが『尾張名所図會』です。

## 『尾張名所図會』とは

『尾張名所図會』は、前編・後編・附録からなる書物で、前編は小田切春江が絵を描き、岡田文園・野口梅居が文章を書いたも

① 桃花會



② 毛受村の猿廻し



③ 荻安賀全圖



のです。加藤瑞齋が清書して、天保12年完成した原稿を天保15年に名古屋の菱屋久兵衛と菱屋久八郎が共同出版しました。後編は岡田文園・野口梅居の原稿に小田切春江が絵を描き、文章を補訂して、明治13年に愛知県が出版しました。

前編には愛知郡・知多郡・海東郡・海西郡について書かれ、後編には中島郡・春日井郡・葉栗郡・丹羽郡について書かれています。千三〇〇余の項目のうち、神社・仏閣、城跡などが数多く記載されています。そして、私たちがよく繙き、引用するのは後編になります。

## 『尾張名所図會』に描かれた風景

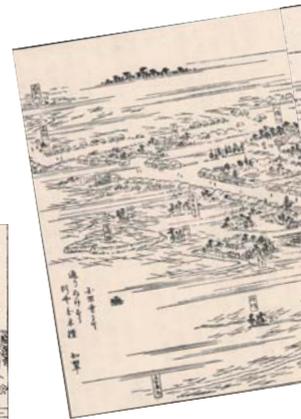
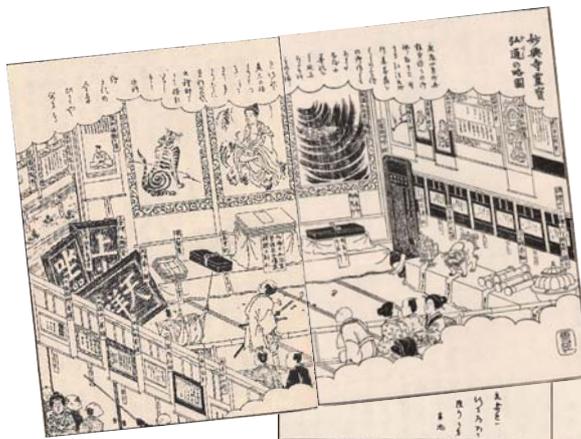
私たちにとって最も身近な『尾張名所図會』の挿図は、やはり「一宮 馬之頭」・「桃花會」①と「一宮月並市」ではないでしょうか。名所・旧跡の解説に合わせて描かれたといながらも、生き生きと描かれた人々の姿は、往時の賑わいを彷彿とさせます。そして、現在ではなくなってしまうものや、姿を変えてしまったもの、あるいは延々と続くものなど、歴史的に興味深い情報もたくさん提供してくれています。

例えば、「毛受村の猿廻し」②。名古屋城三の丸の厩や屋敷方の厩の祈禱をしていた猿廻しが、毛受村にいたことがわかります。

続く「苅安賀全図」③では、浅井氏の居城があった高まりや、村の中央を流れる川巡見街道の両側に続く家並が俯瞰して描かれています。今では、西尾張中央道・東海北陸自動車道が南北に縦断し、東西に続く街道の町並みの風情もなくなってしまいました。博物館に隣接する妙興寺も三枚の挿図とともに紹介されています、土塁が築かれ、いくつもの塔頭に囲まれた広大な姿です。「妙興寺靈宝弘通の略図」④では、重要文化財の「足利義教像」や県指定文化財「大応国師袈裟」など現在も伝えられている文化財が陳列され、人々が拝観する風景が描かれています。

紹介しきれないほどの名所が書かれている中で、江戸時代から続く伝承を後世に伝えようと地域で守られている大きな杉の木があります。これは、浅井町河端の河俣上神社にある神杉とも巨杉とも呼ばれた大杉です。(表紙の写真)『尾張名所図会』では「河俣上天神社」⑤として社殿と鳥居、大きな杉と道行く旅人が描かれています。『愛知県伝説集』にも取り上げられたこの大杉には、伝承が残っています。この大杉には天狗が棲んでいて、「大杉の下を通ると、天狗様が悪いことをさっせるといかん」といつて西海戸に買い物に行くにも走って行ったものだそうです。西海戸までは家がなく畑

◀④妙興寺靈寶弘通の略圖



かわまたかみてんじんのやしろ  
⑤河俣上天神社

# 會

ばかりで、神社には大木と木々が繁り、夜などは真っ暗だったそうです。しかし、「大杉さまの葉を貰って布団の下に入れておくと、子どもの夜泣きが止まるでナモ」と信じられて安産の祈願に参詣する人が多かったと、昭和47年に書かれた『河俣上神社由緒』に記されています。子どものひきつけ

や夜泣きに効くとあって、蝋燭を立ててお参りすることがあり、その火や落雷による火災で木の一部は燃えてしまっているのがわかります。そして、昭和34年の伊勢湾台風で枯死してしまっただけです。平成19年に地元のみなさんが覆い屋をつくり、今後この木と伝承を伝えていく努力をされています。

紹介されている名所や旧跡が、現在では指定文化財になっているものもあります。大和町戸塚の七ツ石や明地にある靱江神社の黒松並木など、『尾張名所図会』を手に訪れると一層感慨深いものです。

## 『尾張名所図会』を訪ねる

江戸時代末から明治時代は、百五十年ほど遡るだけでつい最近のような気がしますが、風景は変化し、人々の姿も変わってしまいました。写真がなかった頃のこれらの絵や記述は、私たちに伝承されなかった情報をもたらしてくれる貴重な史料と言えます。

※河俣上神社の伝承については、地元の内田一義さん、不破喜久夫さんにご教示をいただきました。また、河俣上神社小島幸雄宮司、町内会のみなさんにもご教示を賜りました。ここに、御礼を申し上げます。

※参考文献

○『尾張史料のおもしろさ 原典を調べる』

平成16年 名古屋博物館

○安藤淑江「『尾張名所図会』の文化世界」

『尾張藩社会の総合研究二』平成15年 清文堂出版

(一宮市博物館 学芸員 久保禎子)

ポピーの会は、三輪清弘先生を講師に迎え7年前に創設されました。現在の会員は18名で、毎週水曜日に先生のご自宅のアトリエでご指導をいただいています。普段の教室では、水彩画、油彩画、パステル画、アクリル画などいろいろな画法を学ぶことができ、自分に合った画法を見つけることができます。

先生の熱心なご指導のおかげで、去年は東京、名古屋、岐阜などの公募展や一宮市美術展にも出品し、多くの会員が入賞を果たすことができました。また、発表の場として、三岸節子記念美術館にて毎年1回「ポピーの会展」を開催しています。また、9月には旧尾西市中心のグループによる合同展「尾西展」にも参加しています。特に合同展では、他のグループの作品を鑑賞し、会員とも意見を交換して交流を深め、良い勉強の場にもなっています。

他に、みんなで行くスケッチ旅行や美術館めぐり旅行も毎年計画しています。普段とは違う景色を見ることや、普段見ることができない名作を鑑賞することは、とても良い経験になり制作意欲が更に湧いてきます。

これからも、人と人との交流を大切にし、より良い作品をめざして頑張っていきたいと思います。



◀アトリエにて

【問合せ先】木村 周子 ☎62-2438

私達「琴生流大正琴さつき会」は、「地域に根付いた文化活動に貢献し、人生の生き甲斐にすることを目標に、旧尾西市にて平成2年5月から活動が始まりました。「さつき会」という名前は、旧尾西市の花である“サツキ”から付けました。

現在は寺澤先生を講師に迎え、毎月第2、第4土曜日の午前10時から午前11時30分まで尾西生涯学習センターで楽しく稽古をしています。

大正琴には数字譜という文字通り数字を使ってメロディーを書き表す楽譜があります。この楽譜のおかげで、五線譜が苦手な人も簡単に読むことができ、手軽に演奏することができます。

毎年、秋には、尾西公民館文化祭や尾西芸能祭に出演しています。他にも地域の婦人会、老人会や病院などへ慰問活動に出かけます。

演奏が終わった後に「ありがとう」と感謝の言葉をもらすと、大変心が温かくなり、嬉しくなり

ます。大正琴という音楽を通じて、会員だけではなく演奏を聞いて下さった方々とも触れ合えることは、私達の生き甲斐になっています。

皆さん、これからの人生に大正琴の音色をプラスしてみませんか。

どうぞお気軽に声を掛けて下さい。一同、心よりお待ちしております。



◀寺澤講師と新年初のお稽古

【問合せ先】鶴 寿江美 ☎62-7883

## 加入団体の紹介

### 美友会 (びゆうかい)

(邦楽部門)

美友会は、箏曲の“美しさ”と“楽しさ”を心と体で感じることを目標に、週1回、講師のご自宅で練習をしながら活動しています。

“お琴”と言うと「お金がかかる」「難しそう」と思われる方が多くみえ、敬遠されがちですが、そのような心配は要りません。美友会では、お琴に触れて楽しむことが一番の目的なので“手軽に行えること”と“続けていくこと”を大切にしています。

指先を使い、弦を弾いて奏でる箏曲の音は、心に染みるような優しさだけではなく、強さも感じることができます。「琴線に触れる」という言葉にもあるように、弦の音色がひとつの曲になることで、皆様の心にある美しさや楽しさを感じる気持ちを、お琴を通じて、より強く、深く感じていただければと思っています。

箏曲で弾く曲には伝統ある古典の曲はもちろん、

最近では流行の歌謡曲などの新曲もあり、様々な曲を弾くことができます。

お琴を始めることで、「色々な場所で、様々な方々と弾いてみたい」などの素敵な目標も持つことができます。

趣味を広げたい方も、本格的に始めたい方もぜひお気軽にご連絡ください。お待ちしております。



◀紅葉まつりにて

【問合せ先】松原 美鈴 ☎62-6195

## 加入団体の紹介

### ききょうの会 (ききょうのかい)

(俳句部門)

ききょうの会の結成は昭和58年1月、一宮スポーツ文化センターで「一宮市うるおい講座」として開催された俳句の講座がきっかけになり、講座は終了しましたが、このまま解散してしまうのは残念と有志を募り、立ち上げました。今は、毎月第1、第3木曜日の午後1時から大志公民館にて活動しています。

毎回、各自5句を持ち寄り、研鑽を積み楽しい時を過ごし、発表の場として、一宮市七夕祭りや一宮市芸術祭の俳句大会に参加をし、毎年発刊されている「いちのみや文芸」にも投稿しています。また、創作意欲を高めるために年2回、外に出て実作の勉強と親睦を深める吟行会も実施しています。

日々の暮らしの中で、句材を求め言葉を大切にしながら俳句を詠むと、今まではただ漠然と見えていた景色が、違ったものに見えてきます。また、俳

句を詠むことは脳の活性化にもつながり、健康にも大変良いことだと思います。

豊かな人生を送るため、俳句を始めませんか。俳句はお互いの気心も知ることができ、素晴らしい友人を作ることにもできると思います。

是非一度、気軽に訪ねてみて下さい。お待ちしております。



◀吟行会の折、万葉公園にて

【問合せ先】木村 たか ☎45-0274

# 文化情報



「露のとう」 河村明美

## 《市および市内公共施設の催し》

### 一宮市博物館

☎(46)3215

市制施行90周年記念

特別展「墨コレクション〜武士のファッション・陣羽織〜」

日時 4月29日(金)〜6月5日(日)

午前9時30分〜午後5時

(入館は午後4時30分まで、月曜休館、月曜日が休日の場合は翌日休館、以下同)

内容 新たに収蔵した毛織物コレクションから、武士が戦場での装いとして華を競った陣羽織を紹介します。

観覧料 一般 300円

高大生 200円

※市内小中生・65歳以上無料

企画展「硯ことはじめ」

日時 6月18日(土)〜7月31日(日)

午前9時30分〜午後5時

内容 尾張・美濃地域で出土する古代から現代に至るまでの硯を紹介いたします。

観覧料 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

※市内小中生・65歳以上無料

### 三岸節子記念美術館

☎(63)2892

常設展「三岸節子 花とことば」

日時 4月5日(火)〜7月18日(祝)

午前9時〜午後5時

(入館は午後4時30分まで、月曜休館)

内容 生涯のテーマとした「花」の作品を画家の思いを記した言葉とともに展示。

観覧料 一般 320円

高大生 210円

小中生 110円

※市内小中生・65歳以上無料

### 尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

企画展「資料館開館25周年記念企画展」

日時 4月23日(土)〜5月29日(日)

午前9時〜午後5時

内容 25周年を迎える資料館の歩みと主な館蔵品を紹介。

観覧料 無料

日時 5月8日(日)

午後1時30分〜3時

5月22日(日)

午前9時〜午後4時30分

内容 江戸時代の街道美濃路について、歴史と現在の様子を講義と現地学習で学ぶ講座。

申込み 応募期間中に資料館へ直

接、またはハガキにて申し込み。

## 一宮市 芸術文化協会 加入団体の 催し

### 『狂俳月例会』

【問合せ先】一宮狂俳壇連盟

☎(45)6702

日時 4月9日(土)・5月14日(土)・6月11日(土) 午後1時〜

会場 葉栗公民館

内容 各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。(初心者歓迎)

参加料 無料

### 『市民短歌教室』

【問合せ先】真清短歌会

☎(62)4654

日時 4月10日(日)・6月12日(日)

午後1時〜

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 真清短歌会委員により実作

指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

### 『春の市民短歌吟行会』

日時▼5月10日(火) 午前9時〜

行先▼日本大正村(岐阜県恵那市)他

対象▼どなたでも

参加料▼2,500円(食事つき)

申込み▼4月20日(水)までに事務局

☎(84)0013へ連絡

### 『サロンコンサート』

【問合せ先 一宮音楽家協会】

☎(87)2827

日時▼5月8日(日) 午前11時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼一宮音楽家協会会員による

演奏会

入場料▼無料

### 『石刀まつり』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(73)5221

日時▼4月24日(日)

会場▼石刀神社(今伊勢町馬寄)

内容▼山車からくり・献馬

### 『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市俳句教室】

☎(73)5504

日時▼4月24日(日)・5月22日(日)

6月26日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠3句を一宮市民俳

句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

### 『春の市民俳句吟行会』

日時▼5月17日(火) 午前9時〜

行先▼安土城跡(滋賀県近江八幡

市)他

対象▼どなたでも

参加料▼2,500円(食事付き)

申込み▼5月10日(火)までに事務局

☎(84)0013へ連絡

### 『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(45)8045

日時▼4月24日(日)・5月22日(日)

6月26日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一宮

川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

### 『第5回一宮新総合美術展』

【問合せ先 生涯学習課】

☎(84)0013

日時▼6月9日(木)〜12日(日)

午前10時〜午後5時

(12日は午後4時30分まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼日本画、洋画、彫刻・立体、

デザイン、工芸、書、写真

の作品展示

入場料▼無料

### 『コットンデザイン展』

【問合せ先 尾張もめん伝承会】

☎(78)1530

日時▼4月18日(月)〜23日(土)

午前9時〜午後4時30分

会場▼愛知県デザインセンター

内容▼昔ながらの技法で織り上げ

た綿木綿作品の展示

入場料▼無料

### 『40周年記念コンサート』

【問合せ先 一宮合唱協会 一宮

マザーズ・エコー】

☎(68)2084

日時▼3月13日(日) 午後1時30分〜

会場▼稲沢市民会館中ホール

入場料▼無料

### 《県文化協会連合会の催し》報告

#### 愛知県文連美術展

12月21日(火)〜26日(日)、愛知県美術館8階ギャラリーを会場に35回愛知県文連美術展が開催されました。県下より多数の作品が応募され、285作品が入賞・入選に輝きました。今年は年末の開催となりましたが、多くの方が来場され、大変賑わっておりました。

本協会からも日本画の部、今枝由恵さん、瀧 廣美さん、洋画の部、長谷川千代子さん、山田 徹さん、米津美代子さんが入選されました。



## 一宮市博物館

# 円空展ほか多彩な展覧会を開催

一宮市博物館では、本年度も、広く市民の皆様へ歴史や美術に関する研究成果をご観覧いただけるよう多彩な展覧会を開催いたしました。展覧会の中には、地元作家の方々のご理解とご協力をいただき、開催させていただいたものもありました。

今後とも、皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

## 特別展 円空展

江戸時代初期、全国を巡り、生涯に約12万體もの神仏像を作ったといわれる円空（1632-1695）。現在は5200體余が確認されています。

5月22日から7月11日まで開催した特別展では、一宮市に伝わる円空仏と愛知・岐阜県に残された中から73点と歴史資料を出品し、この地方に残る円空の作品を見ていただきました。

その慈愛に満ちた穏やかな像、また厳しさを内に秘めた激しい表情の像など、観覧された人々を惹きつけてやまないものがありました。



▶ 円空展

## 2010 一宮美術作家新展

8月28日から9月12日まで、一宮美術作家協会の59人の会員

の方々、最新の発想・イメージで制作された作品73点を展示しました。

会場には、作家の思いが込められた力作が並び、個性豊かな作風をご観覧いただきました。

## 一宮写真協会選抜写真展

9月16日から26日まで、今回は「はじまりはいつも感動。」をテーマに、作家33人の熱い思いが込められた作品51点を展示しました。

人、動植物、そして自然との出会い、ふれあいに来場された方々も感動された展覧会でした。

## 特別展

## 木曾川をめぐる人と文化

一宮市は長野県に源を発する木曾川に面し、川を利用した人々の暮らしや文化は古くから地域と密接な関係を持って営まれてきました。

10月9日から11月21日まで、木曾川が作りだした自然環境、人々が木曾川をどのようにして

利用し、暮らしてきたかを展示しました。

## 2010 一宮現代作家美術秀選展

12月4日から19日まで、第68回一宮市美術展での各部門の依頼出品者の選りすぐり作品や市長賞受賞者の作品など作家の熱意あふれる84点を展示しました。この時期、博物館周辺は初冬のきりりとした澄んだ空気の中、落ち着いた雰囲気の中でご鑑賞いただきました。



▶ 一宮現代作家美術秀選展

[題字] 武山翠屋  
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局（市教育委員会生涯学習課内）  
〒493-8511 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り27番地  
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809